連携事業の成果を報告する愛媛大の秦敬治教授＝22日午後、松山市文京町の松山大

教育・研究 連携着実

愛媛大 松山大 6事業の成果報告

愛媛、松山両大学は22日、相互交流と協力を推進し、教育・研究の充実を図るため2010年に始まった大学間連携事業の11年までの成果報告会を松山市文京町の松山大で開き、関係者約110人が参加した。

連携事業は、学生の交流▽単位互換▽教職員の交流▽共同研究事業―などが柱で、本年度分を含め17件の事業が採択された。

この日は、学生・教職員による障害がある学生への相互支援プログラム、共同フィールドワークの調査結果、学生のキャリア意識の調査研究、がん細胞を抑制する特定タンパク質の機能解明など6件の成果を報告。波多江典之元松山大薬学部准教授の新規抗がん剤に関する共同研究と、愛媛大教育・学生支援機構の秦敬治教授の「リーダーシップ・チャレンジ in 韓国」が、学長賞を受賞した。

秦教授の事業に参加した松山大人文学部英米文学科3年生の松久和範さん(21)は「韓国でのセミナーでリーダーシップを発揮でき、自信につながった。もっと成長したい」と成果を実感していた。

（長谷川悠介）